

つかむ

調べる

まとめる

深める

～グループで複数の資料をもとに日本の工業生産の強みと課題を共有し、考えを深める活動～

### 1. 小単元名『工業の今と未来』

(教科書：『小学社会 5 上』 p.142～155／学習指導要領：内容（3）ア，イ，ウ）

### 2. 小単元の目標

さかんな工業の種類や工業地域，大工場と中小工場のそれぞれの生産の様子など，日本の工業の特色を捉えさせる。また，高い技術やアイデアを生かし，心の豊かさをもたらす工業生産が進められていることを捉えさせるとともに，これからの工業生産について考えさせる。

### 3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
生活が様々な種類の工業製品に支えられていることに気づき，日本の工業生産の特色について，興味をもって調べようとしている。	海沿いや一部の内陸部で工業生産がさかんな理由について，土地の条件や交通網の発達と関連付けて考え，表現している。また，工業生産と人々の生活を関連付けて，工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考え，表現している。	大工場や中小工場の特色について，資料から読み取ったことをノートや教科書にまとめている。また，高い技術を生かしてものづくりをする中小工場の工夫や努力について，必要な情報を資料から読み取り，ノートにまとめている。	工業がさかんな地域の分布や，生産の割合が大きい工業の種類，日本の工業生産を支える中小工場の優れたものづくりなど，日本の工業の特色を捉えている。また，工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解している。

### 4. 指導にあたって

#### (1) 教材について

本小単元では，日本の工業の特色や中小工場のものづくりについて学習することで，工業生産が国民生活を支えていることに気づかせ，これからも日本の工業生産を続けていくためにどのようにしていけばよいかを考えさせる。そこで，各種資料から特色を読み取り，具体的な事例を通して技術の高さや生産者の思いを理解させ，日本でものづくりをすることの重要性を捉えさせる。

また，「深める」段階では，工業生産の大単元全体を振り返る必要がある。そこで，原材料の確保，貿易や運輸，技術の向上，環境への配慮などの視点から，日本の工業のこれからのについて考えられるようにする。

#### (2) 指導上の工夫・留意点

本小単元は，資料の読み取りが中心で概括的な学習になりやすいが，様々な工業製品が暮らしを豊かにしていることを具体的におさえ，工業の大切さを感じさせたい。そのうえで，工業生産をめぐる課題を取り上げ，日本の工業生産の強みを生かすという視点で解決のための手立てを考えさせたい。しかし，簡単に解決策が見出せる課題ではないため，これまでの学習をもとに多面的に考え

ることができるように視点を示し、効果的な話し合いになるよう工夫する必要がある。

## 5. 小単元の指導（総時数 7 時間）

時数	ねらい	○学習活動
① (つかむ)	生活が様々な工業製品に支えられていることや日本の工業生産の傾向を捉え、日本の工業に対して関心をもつことができるようにする。	○工業製品の仲間分けをしたり日本の工業生産額の変化を読み取ったりして、日本の工業についてわかったことや疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくる。
① (調べる)	工業のさかんな地域について調べ、その地域で工業がさかんな理由を考えることができるようにする。	○工業のさかんな地域とそれぞれの地域の特色を地図や統計資料などから読み取り、さかんな地域の分布について考え、話し合う。
① (調べる)	日本の工業における大工場と中小工場の生産の様子を資料から読み取り、それぞれの生産の特色と役割について考え、まとめることができるようにする。	○大工場と中小工場の生産の特色について、写真や統計資料などから読み取り、ノートなどにまとめる。
① (調べる)	大田区の中小工場で働く人の工夫や努力に気づくとともに、中小工場の高い技術が日本の工業生産を支えていることに気づくことができるようにする。	○写真や働く人の話などを通して、大田区の中 小工場のものづくりの様子を調べ、中小工場の工夫や努力について話し合う。
① (調べる)	アイデアを生かした東大阪市の中小工場の工夫や努力を資料から読み取り、日本の工業生産を支える中小工場のものづくりの特色について捉えることができるようにする。	○写真や働く人の話などを通して、東大阪市の 中小工場のものづくりの様子を調べ、大田区 のものづくりとも比べながら、気づいたこと を話し合う。
① (まとめる)	心を豊かにする工業生産について調べ、人々の生活との結びつきから工業生産の役割や意味について捉え、今後目指していく工業生産のあり方について考えることができるようにする。	○心を豊かにする工業生産について、具体的な 製品の例をもとに調べ、工業生産が人々の生 活に果たす役割や意味について話し合い、こ れからの工業生産のあり方について考えを まとめる。
① (深める)	日本の工業生産が抱えている課題を捉え、これからの工業生産にとって大切なことを考えることができるようにする。	○日本の工場数の減少をグラフから読み取り、 日本の工業生産が抱える課題をこれまでの 学習をもとに話し合い、これからの工業生産 について考える。

## 6. 本時の指導（第 7 / 7 時）

### (1) 本時のねらい

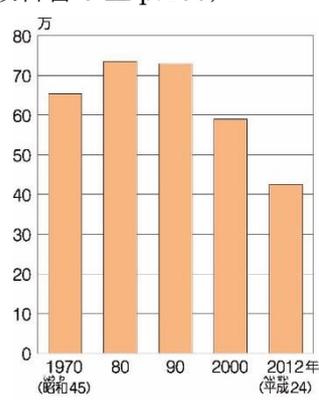
日本の工業生産が抱えている課題を捉え、これからの工業生産にとって大切なことを考えることができるようにする。

(2) 本時における考え合い表現し合う活動と指導の留意点

本時は、日本の工業生産について扱う大単元の最後の時間となるため、「大単元のまとめ」という位置づけとなる。そのため、これまで使った資料をもとに学習を振り返り、話し合うことで、これからの日本の工業が発展していくための手立てを考えていきたい。

そこで、工業生産の現状や特色を「強み」と「課題」という点で整理する。そのうえで、原材料の確保、貿易や運輸、新しい技術の開発、環境保全などの視点を見出せるようにする。それらの視点をもとにグループで話し合い、「強みをより生かすため」あるいは「課題を克服するため」の手立てを考える。グループ活動ならば、各自の教科書を持ち寄ることで、違うページの資料を一覧できるので、関連付けがしやすい。最後に、話し合ったことを学級全体で共有し、自分の考えをまとめていけるとよい。

(3) 本時の展開

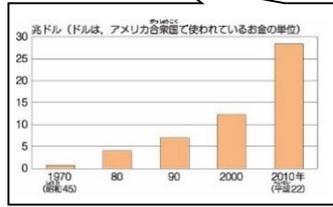
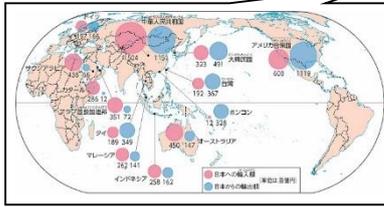
時配	○学習活動 T:発問 C:児童の反応	◎資料 ◇留意点 ◆評価
10	<p>○これまでの学習の内容を振り返る。</p> <p>T:自動車の生産から始まり、これまで日本の工業について学習してきました。日本の工業の強みは、どんなところだったでしょう。</p> <p>C:消費者のニーズに応え、環境に配慮している。</p> <p>C:大工場と関連工場が協力している。</p> <p>C:人とロボットが協力している。</p> <p>C:優れた製品や高い技術を輸出している。</p> <p>T:では、課題はあるでしょうか。</p> <p>C:工場の数、工業の働き手が減っている。</p> <p>C:資源を輸入に頼っている割合が多い。</p> <p>C:環境にもっと配慮しないといけない。</p> <p>C:自由な貿易によって、安い外国製品が増えるかも。</p> <p>T:原材料の確保、貿易や運輸、技術、環境といった点がこれからの日本の工業のキーワードになりそうですね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>課題</b></p> <p>これからも日本の工業が続いていくためには、どのようなことに力を入れていけばよいだろう。</p> </div>	<p>◎資料 ◇留意点 ◆評価</p> <p>◎<b>ア</b>日本の工場の数の変化 (教科書 5 上 p.155)</p>  <p>◎日本の主な輸出入品の変化 (同 p.136 <b>ア</b> <b>イ</b>)</p> <p>◎日本の工業生産額の変化 (同 p.143 <b>オ</b>)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>資料を関連付けるように指導し、既習を深められるようにする。グループ活動だと、資料を比較・関連付けしやすい。</p> </div>
15	<p>○これからの日本の工業の発展について、強みをさらに生かすため、あるいは課題を解決するための手立てを、グループごとに話し合う。</p> <p>T:では、キーワードをもとに、資料を関連付けながら、これからの日本の工業をどのように進めていけばよいと思うか、グループで話し合ってみましょう。</p>	

10

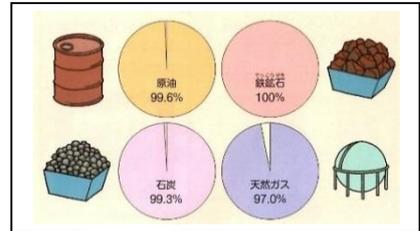
○各グループの意見をもとに、学級全体で話し合う。

T: それでは、出てきた意見を発表しましょう。

C: 貿易相手は世界中にあり、貿易額も年々増えているので、外国と仲良くすることが大切です。



◇複数の資料を関連付けて考えることで、これまでの学習を生かし、根拠をもって考えをまとめられるようにする。



C: 日本は資源が少ないので、貿易を活発にしたり、技術を提供したりして外国と仲良くすることが大切です。

C: 外国の人により製品を買ってもらうため、現地生産を増やして外国の人に働いてもらうと仲良くなれそう。

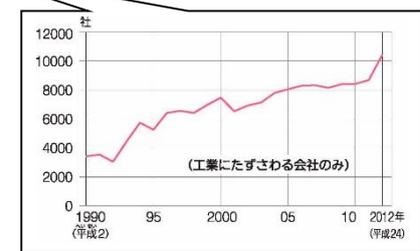
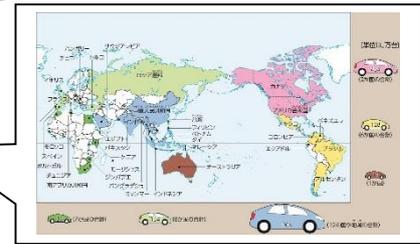
C: 日本の工場の数や働き手が減っているなかで、これ以上現地生産を進めると日本の工業が衰退してしまうよ。

C: 日本の中小工場は新しい技術を開発する力があつたから、多少高くても国内での生産を大切にすべきだよ。

C: でも、輸出すると輸送に費用がかかるし、環境にもよくないと思うよ。

C: 自動車生産のように、廃棄物のリサイクルや環境にやさしい製品を増やす取り組みが大切だよ。

T: 様々な意見が出てきました。どれか一つのことをすれば解決する、というような、簡単な問題ではないですね。どんな手立てをとるにしても、そのよさと、気をつけるべきことがありますよね。



◇それぞれの手立てのよい点、問題点が明らかになるように話し合いを進め、単純な解決策はないということ意識づける。

10

○話し合ったことをもとに、自分なりの考えをまとめる。

T: それでは、話し合ったことをもとに自分なりの考えをノートにまとめてみましょう。

C: 中小工場は、規模は小さいけれど高い技術をもっているの、もっと世界中に知ってもらえるように、国や県も後押ししていくとよいと思う。

C: 現地生産を進めると技術の流出につながるの、外国人が日本で働きやすいようにして、協力すればよいと思う。

C: 日本は資源が少ないので、外国と貿易を続けられるよう仲良くしないといけない。よい製品を積極的に輸出して、外国からもっと信頼してもらえばよいと思う。

◇これまで学習してきたことをもとに、現状を把握しつつ、提示された視点に沿って考えを書けるようにする。

◆調べてきたことを根拠に、これからの日本の工業生産について考えようとしている。(関・意・態/ノート)